

春日井市 指定希少野生動植物種



春日井市 指定希少野生動植物種

春日井市は、自然環境の保全を推進する条例に基づき、特に保護する必要がある希少な野生の植物3種、動物5種を「指定希少野生動植物種」として指定しました。

(平成24年1月10日施行)

植物

シデコブシ

ササユリ

ヒメカンアオイ

動物

カヤネズミ

ヨタカ

ナゴヤダルマガエル

ギフチョウ

ヒメタイコウチ

指定希少野生動植物種とは

条例で次のような生物が該当するとしています。

- 種の存続に支障を及ぼす程度にその種の個体の数が著しく少ないもの
- その種の個体の数が著しく減少しつつあるもの
- その種の個体の主要な生息地又は生育地が消滅しつつあるもの
- その種の個体の生息又は生育の環境が著しく悪化しつつあるもの
- 上記のほか、その種の存続に支障を及ぼす事情があるもの

禁止されていること

条例で次のような行為は禁止されています。

- 指定希少野生動植物種に指定された種の生きている個体を捕まえたり、採ったり、殺したり又傷つけたりすること。
- この条例に違反して捕獲などを行った種の個体を、譲渡し、譲受けや引渡し、引取りをすること。

※法令等に基づく場合や、人の命や身体の保護のために必要がある場合など、やむを得ない事由がある場合は除きます。

希少な野生動植物を守るために

希少な野生動植物を守るためには、捕獲や採取を禁止するだけでなく、生育・生息できる環境を保全する必要があります。

野生動植物のことをよく知り、多くの人々がそれを意識することが、非常に有効な保護対策につながります。

希少な野生動植物のことを知りましょう

希少な野生動植物は人の目にふれないことが多くあります。身近な場所に生息・生育しているかもしれません。

例えば、ササユリの芽が、歩いている林道のすぐ脇に隠れているかもしれません。カヤネズミの巣が、裏の空き地のススキ原の中にあるかもしれません。

このパンフレットや図鑑やインターネットなどで、希少な野生動植物のことを調べてみましょう。

野生動植物を観察して生息・生育している環境を理解しましょう

野生動植物のことを理解するには、自然な姿を観察することが大切です。どのようなところで、どのような生活をしているかを見てみましょう。ご自身で観察するだけでなく観察会などに参加すると、より多くの理解を得られます。

観察するときは、あまり近づきすぎないようにするといった配慮も必要です。

例えば、ヨタカのような鳥は、巣に人が近づいたために子育てをやめることがあります。

野生動植物が生息・生育している場所を保全しましょう

野生動植物が生息する環境は微妙なバランスで成り立っています。

例えば、ギフチョウは明るい雑木林に生育するカンアオイ類を食べていますが、林が茂って暗くなったりしてカンアオイ類がなくなると、その場からいなくなってしまう。

希少な野生動植物のためには、その生息・生育環境を適切な状態に保全することが大切です。

春日井市では市民のみなさんの協力を得て保全のための活動を行っています。

外来種を野外に放さないようにしましょう

市内には、指定希少野生動植物種を始め、多くの野生動植物が生息・生育しています。

これらの生活を圧迫し、生態系に影響を及ぼす外来種であるブラックバスやアカミミガメなどを野外に放さないことが必要です。

シデコブシ

選定理由

東海丘陵に固有の植物で、岐阜、愛知、三重の三県だけに分布しています。生息地は湧水によって礫、砂、粘土が再堆積し不透水層を伴う湿地に限られ、湧水湿地という生育環境が減少していることにより希少種となっています。春日井市の湧水湿地環境を指標する代表的な種としてとりあげます。

生態など

■ 形態・生態 ■

夏緑性の小高木または低木。高さは 5m くらいのもが多いが、時には 10m に達する。花は 3～4 月に葉が展開する前に咲き、直径 7～10cm、花被片は 12～18 枚、淡紅色またはわずかに紅色を帯びた白色、縁は多少波をうつ。集合果は長さ 3～7cm になり、種子は赤色である。

■ 生育環境 ■

湧水によって礫、砂、粘土が再堆積し不透水層を伴う湿地に生育する。

■ 保全対策 ■

日照確保および他の樹木の除伐等による生育環境の保全。小集団化を防ぎ、他の集団とのつながりの確保。

■ 希少性のランク ■

国：準絶滅危惧（NT） 県：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 名古屋市：絶滅危惧ⅠB類（EN）



写真提供：波多野茂 氏



写真提供：波多野茂 氏

ササユリ

選定理由

市内では丘陵山地の明るい樹林地等に生育していましたが、現在では市内数箇所しか残存しておらず、個体数は非常に少ない状態です。雑木林に人の手が入らなくなり、林内が暗くなり、風通しが悪くなるに伴い激減し、残存個体も減少傾向にあります。春日井市の落葉樹林の良好性を指標する種としてとりあげます。

生態など

■ 形態・生態 ■

多年生草本で、高さ 50～100cm になる。花期は 6～7 月、漏斗型で淡紅色またはほとんど白色。実は倒卵形、長さ 3～4cm。

■ 生育環境 ■

丘陵・山地の落葉樹林地や明るい山麓地に生育する。

■ 保全対策 ■

周辺の間伐と下刈り等による生育環境の保全。

■ 希少性のランク ■

国：なし 愛知県：なし 名古屋市：絶滅危惧ⅠB類（EN）



写真提供：高橋匡司 氏

ランクの凡例（左ほど絶滅の危険性が高い）

（絶滅危惧ⅠA類（CR）、絶滅危惧ⅠB類（EN）、絶滅危惧Ⅱ類（VU）、準絶滅危惧（NT））

ヒメカンアオイ

選定理由

古典観葉植物の一つで園芸種として知られ、またギフチョウの食草として幼虫飼育のため掘取りが目立っています。市内では、僅かに2箇所ではしか自生しておらず、春日井市の丘陵地の樹林環境でギフチョウが生息しやすい場所を指標するもの一種としてとりあげます。

生態など

■形態・生態■

常緑性の多年生草本。花期は11～3月で、花は暗紫褐色。果実が熟すと崩れ、楕円形の種子が落ちる。種子は多肉で蟻によって散布される。

■生育環境■

明るい樹林の林床に生育する。

■保全対策■

周辺の間伐と下刈り等による生育環境の保全。

■希少性のランク■

国：なし 愛知県：なし 名古屋市：なし



写真提供：波多野茂 氏

カヤネズミ

選定理由

全国的に、里山や水辺等の草地環境の消失とともに個体数は減少しており、春日井市においても草地環境は消失傾向にあると思われ、個体数は減少していると推測されます。市内では、2箇所では巣の確認情報があり、春日井市にある、「一定の広がりを持つ草地」という特色的な景観や生態系の指標となる種としてとりあげます。

生態など

■形態・生態■

体重5.3～14.0g、頭胴長54.0～78.5mm、尾長47～91mm。体は非常に小さく、背面の毛色は赤褐色から暗褐色まで変異がある。春から秋にかけてススキのような草本の茎の途中に葉を細切したものを編み上げた球巣をつくる。冬期は地下の坑道にすむ。草本の茎葉、種子、果実、昆虫などを主食としており、人畜に害を及ぼすことはない。野外での寿命は1年あまり。

■生息環境■

河川敷やため池周辺、休耕田のススキやヨシ等の草地に生息する。

■保全対策■

ススキやヨシ等のイネ科草本がある程度まとまって繁茂する草地を確保し、草地を維持するための刈り取り管理の実施。

■希少性のランク■

国：なし 愛知県：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 名古屋市：絶滅危惧ⅠB類（EN）



写真提供：宇都宮靖博 氏



◀球巣

写真提供：木村しのぶ 氏

ランクの凡例（左ほど絶滅の危険性が高い）

（絶滅危惧ⅠA類（CR）、絶滅危惧ⅠB類（EN）、絶滅危惧Ⅱ類（VU）、準絶滅危惧（NT））

ヨタカ

選定理由

全国、愛知県レベルで希少性が高い種であり、愛知県では、レッドリストの改定にあたり希少性のランクが上がるなど希少性が高まっています。里山に生きる鳥として、春日井市の丘陵地とその周辺の樹林環境の良好性を示す指標としてとりあげます。

生態など

■形態・生態■

全長 29cm。灰褐色や灰白色に、黒色と橙褐色の複雑な斑がある。県内では4月下旬に渡来し繁殖する。夜間に甲虫、ガなどの昆虫類を、空中を飛びながら捕獲する。林縁の地上などに直接 1～2 卵を産卵する。夜行性で姿を見ることはまれだが、キョキョキョという独特な鳴き声が昔から親しまれており、その特徴的な生態が宮沢賢治の小説（よだかの星）にとりあげられるなど興味深い鳥。

■生息環境■

平野部から山間部にかけての明るい雑木林に生息する。

■保全対策■

エサとなる昆虫が多く生息できる明るい樹林環境の維持と保全。

■希少性のランク■

国：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 愛知県：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 名古屋市：絶滅危惧ⅠA類（CR）



写真提供：三島隆伸 氏

ナゴヤダルマガエル

選定理由

全国、愛知県レベルで希少性が高く、かつては農地に普通に見られたが、近年ほとんど姿を消した状況にあります。比較的知名度が高い種で、春日井市に残る水田環境の良好性を示す指標としてとりあげます。市内の生息地では、保全活動が行われています。

生態など

■形態・生態■

体は比較的頑丈で、頭部はやや小さい。体長は、雄で平均 56mm、雌で平均 63mm。トノサマガエルよりずんぐりした体型で、体表面の黒褐色の斑紋は孤立するが変異が多い。愛知県産は背中線のあるものが多い。繁殖は主に水田で、浅い池、沼など浅い止水で繁殖する。

■生息環境■

水辺から離れることなく水田等の周辺で生活する。

■保全対策■

水田・池・水路等の水辺環境やその周辺林の維持。

■希少性のランク■

国：絶滅危惧ⅠB類（EN） 愛知県：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 名古屋市：絶滅危惧ⅠA類（CR）



写真提供：平林孝夫 氏

ランクの凡例（左ほど絶滅の危険性が高い）

（絶滅危惧ⅠA類（CR）、絶滅危惧ⅠB類（EN）、絶滅危惧Ⅱ類（VU）、準絶滅危惧（NT））

ギフチョウ

選定理由

全国、愛知県レベルで希少性が高く、またサクラの咲く頃に成虫が現れるという特徴的な生態と姿の美しさから知名度が高い種です。春日井市における雑木林の良好性を示す指標としてとりあげます。

生態など

形態・生態

前翅長約 32 ～ 34mm の小型のアゲハチョウ。細長い尾状突起をもつ。

黒と淡黄色の縞模様。後翅に橙色紋、赤色紋、藍色の小斑点をもつ。成虫は年 1 回、多くの産地ではソメイヨシノの開花と一致して羽化し、スマレ、カタクリ、サクラなどを訪花する習性が強い。カンアオイ類の葉裏に産卵する。幼虫は葉が硬くならないうちに食べ、ほぼ 1 か月で蛹化、そのまま冬を越す。

生息環境

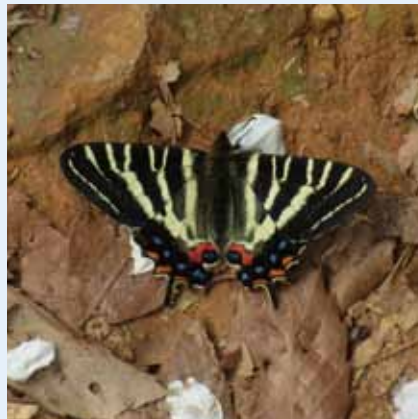
丘陵地の明るい雑木林で、食草のスズカカンアオイやヒメカンアオイなどカンアオイ類や吸蜜植物が生育する場所。

保全対策

生息に適した空間の確保や食草のカンアオイ類及び吸蜜植物を維持するため、間伐や下刈り等の実施。

希少性のランク

国：絶滅危惧Ⅱ類（VU） 愛知県：準絶滅危惧（NT） 名古屋市：絶滅危惧ⅠA類（CR）



写真提供：高橋匡司 氏

ヒメタイコウチ

選定理由

主に湧水湿地に生息する代表的な昆虫であり、泳げず飛べないため移動性が低いという特異な性質が知られ、保護対象としてのシンボル性があり、興味深い種です。春日井市に残る水田環境の良好性を示す指標としてとりあげます。

生態など

形態・生態

体長は 18 ～ 22mm。体型は長卵形で光沢のない暗褐色を呈し、尾端の呼吸管は非常に短い。前脚は捕獲脚になっている。小石や植物の堆積物の下などに潜み、クモ類やゴムムシ類など徘徊性の小動物を捕食する。飛翔しないため移動性が乏しい。

生育環境

市内に点在する湿地、水田、用水路、休耕田、小規模な水たまり等に生息する。

保全対策

湿地及びその後背地の森林等の保全。湿地に生育しないような背丈の高い植物等の刈り取り。人の踏み荒らしの恐れがある場所での木道設置、休耕田を活用したビオトープの増設。

希少性のランク

国：なし 愛知県：準絶滅危惧（NT） 名古屋市：絶滅危惧Ⅱ類（VU）



写真提供：高橋匡司 氏

ランクの凡例（左ほど絶滅の危険性が高い）

（絶滅危惧ⅠA類（CR）、絶滅危惧ⅠB類（EN）、絶滅危惧Ⅱ類（VU）、準絶滅危惧（NT））

春日井市自然環境保全活動推進員の活動

春日井市には、自然環境を保全するための様々な活動を担う自然環境保全活動推進員の制度があります。

指定希少野生動植物種の保護にあたり、自然環境保全活動推進員は市と協力して積極的に活動を進めています。

また、市民の皆さんが参加しやすい学習会や観察会などの催しを開催していますので、どうぞご参加下さい。

活動の様子



竹林の手入れ
平成21年度 ステップアップ講座



ギフチョウの調査
平成21年度 春の自然観察会



森の健康診断
平成22年度 ステップアップ講座



ギフチョウの調査
平成22年度 春の自然観察会

発行者：春日井市 環境部 環境保全課
〒486-8686 春日井市鳥居松町5丁目44番地 電話 (0568)85-6279
<http://www.city.kasugai.lg.jp/>
E-mail:hozen@city.kasugai.lg.jp

参考文献（各種の形態・生態について）：
レッドデータブックあいち2009、レッドデータブックなごや2004